



**「高台」**に避難していた方たちが自宅のあった低地に戻った時に、少しでも顔を上げてほしかった。そんな思いを抱いた地元の有志が震災発生約2週間後から計画を立て、1カ月後にはがれきの材木などを再利用して製作した看板です。現在は震災の教訓を後世に伝えるスポットとして、5年おきに作り替え、継続して展示しています。その活動の様子は近隣にある東日本大震災メモリアル南浜つなぐ館（P7）で詳しく紹介。なかには初代看板が設置されて間もない、平成23年（2011）4月20日に撮影された写真も。辺り一面をがれきや流されてきた車に囲まれ、ボツンと佇む真新しい看板に言葉を失います。2023年1月現在は3代目で、初代看板とは設置場所が異なりますが、高さ約2m、幅約11mの大きさはずっと同じ。被災した方たちが住む災害公営住宅の方向を向く姿も、初代のおまです。

初代看板の写真。設置して間もない平成23年（2011）5月にはこいのぼりを飾り、子どもたちの成長と復興を願った。季節に合わせて七夕飾りやクリスマスツリーを配し、地域の人々を励まし続けている



平成24年（2012）7月に設置された津波到達ポール。地区内でも津波の高さや勢いは、地形や高低差により異なるが、初代看板の近くにあった解体する前のガンリンスタンド2階の津波の跡から高さを測り、6.9mと推察した



看板は5年に一度地元の中学生たちと協力して作り替え、継続して展示している。これまでに2回作り替えており、看板を作ることをきっかけに、震災の記憶を次の世代に伝えている

●いしのまきし

## 石巻市

# がんばろう!石巻看板

あの時も今も、住民に寄り添い鼓舞する看板

**石巻市の被害状況**

- 最大震度 6強
- 浸水面積 73km<sup>2</sup>
- 最大浸水深 25.99m
- 全壊 20,044棟
- 半壊 13,049棟
- 一部損壊 19,948棟
- 死者 3,553人
- 行方不明者 417人
- 負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠  
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

### 展示

交流拠点

車椅子OK

### 施設DATA

●がんばろう!いしのまきかんぱん

### がんばろう!石巻看板

☎ 0225-23-9638 (がんばろう!石巻の会) MAP P114D3

④ 石巻市南浜町3丁目地内 (石巻南浜津波復興祈念公園内 市民活動拠点)

③ 三陸沿岸道路石巻港ICまたは石巻河南ICから車で12分

🕒 見学自由

📍 あり (大型バス:あり)

<https://gannbarouishinomaki.jimdofree.com>



## 考えてみよう

**Q1** 初代看板の時に、津波によってどこからか流されてきた種が看板近くに流れ着き、たくましい生命力で芽を出し、震災の年の夏に咲いた花がありました。当時、「ど根性〇〇〇〇」と名付けられ、大きな話題を呼んだ花は、何の花だったでしょうか？

**A1** ヒマワリ。2世3世と大切に生命をつなぎ、現在では全国、海外でも大切に育てられている。